

# 所 属 長 会

1 日 時 令和7年4月1日（火） 13：35～13：45

2 場 所 特別会議室

3 出席者 市長、副市長、各所属長

4 議 題

- (1) 新任・転任者の紹介（書面提示のみ）
- (2) 市長あいさつ
- (3) その他

5 会議要旨

## 【議題（1）】

別添資料「所属長会名簿」により、新任・転任の所属長の紹介

## 【議題（2）】

（横山市長あいさつ）

横山市長：

2025年度が始まり、先日予算も通ったので、しっかりと市政を前に進めていきたい。

万博が目前に迫ってきた。万博は半年間のイベントというだけではなく、その後50年、100年と続いていく、レガシーになり得る大きなチャンスがある。

すでに海外の多くの方から、「こういうことができないか」、「こういうふうな取り組みはどうか」という声を頂く。

一つ一つが50年、100年後の大阪のレガシーになるという思いで私もしっかりと頑張る。皆さんも、通常業務にプラスとなるため万博の業務は大変だと思うが、団結して進めていただきたい。

あと何点かあり、1点がコンプライアンスである。

市民一人一人の信頼を得ていくことは、市政運営において極めて重要であり、市民の信頼がないと、良い政策も実現効果は非常に薄れる。

だからこそ、所属長として、コンプライアンスの徹底をよろしく願います。

もう1点、私自身も含めて「さん」付けで呼び合う環境づくりを進めている。

民間企業では、代表取締役を含め「さん」付けで呼ぶことが、大きな流れになっている。

距離が近く、風通しが良い職場環境を作る、という意味で「さん」付けの推奨

をしており、徐々にそういう環境になれば、というふうに思っている。

大阪市は非常に大きな組織であり、所属している職員は3万5,000人を超え、意思決定する税の金額は3兆5,000億円を超える。

高い誇りと意識を持った上で、ベンチャー企業のような思いで仕事に臨んでいただきたい。

市民に身近な役所、かつ大阪・関西万博の開催自治体として、様々なことにチャレンジしていただきたい。

大阪は新しいものが生まれる環境である。

大阪市役所からリーダーシップを発揮し、新しいことをやっていける環境でありたいと思っている。

だからこそ、いろんな意見が言える職場環境を作っていきたいという思いがある。

所属長がリーダーシップを発揮し、コンプライアンスを徹底していただいた上で、ベンチャー企業のようにスピード感を持ち、新しいことに取り組んでいくためにも、風通しが良い職場を作っていく組織体でありたいと思っている。

誇り高い職員の意識と、大阪市役所の職員であるという矜持を持って、新しいことに取り組み、この未来を開いていきたい。

### 【議題（3）】

（その他）

西山副市長：

令和8年1月から、システム標準化、第1弾がスタートする。

年末のシステム移行に伴い、スムーズなシステムの移行はもちろん、トラブルの無いよう努めていただく必要があるが、システム導入にあたってはこれまでの事務作業・業務手順を徹底的にBPRしていくことが前段に控えている。

毎年、不適切事務のほぼ全てがヒューマンエラーから発生している。

この際、人の手を介さない業務手法の導入に、徹底的に取り組んでいただきたい。

区役所だけではなく、制度所管局の努力にも関わっているので、肝に銘じて全所属を挙げ、取り組んでいただきたい。